

堺IPCC PRESS

堺でがんばる企業応援マガジン



CASE 01:

株式会社ロッケン

ソフトウェアの開発を担う
AIリードエンジニアの工
ン・トマさん(手前)と、
3Dリードエンジニアの
ジャケ・クレモンさん

Special Feature

「攻める」

日本からヨーロッパ、アメリカへ、就労支援から児童発達支援へ。
現状に甘んじず、次に向けて果敢に「攻める」2社を紹介します。

この企業にこの人あり!

安定した公務員の身分を捨てて
“0円DX”の支援事業を共同設立

デジタルヒーロー合同会社

奥野 真弥さん

SAKAIもの新発見

アレルギー体質にも配慮したグレイン&
グルテンフリーのペットフード

株式会社 ボンビアルコン

CASE 02:

株式会社A.C RISE

利用者に指導するパソコン
操作を確認する職業指導員
の池田あかりさん(右)と
白井佑真さん



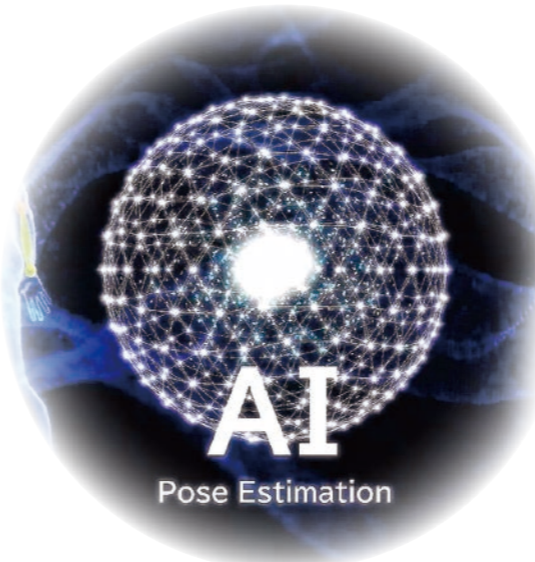


社員の90%が外国人の社内の様子。



社員に看護師の資格取得者もあり、医療のバックグラウンドを持っていることも同社の強み。

医療系ソフトウェアの 受託開発で 高い独自性を発揮



人工知能と可視化技術を活かして高度な医療機器ソフトウェアの開発などを行っている株式会社ロッケン。今年度、国の「成長型中小企業等研究開発支援事業」に採択されたほか、フランスにも拠点を開設し、ますます「攻め」の姿勢を見せています。

株式会社ロッケン
代表取締役 坂本 泰一

医療機器メーカーの開発のため誕生した大学発ベンチャー企業。医療のDXが急速に進展し、内視鏡手術における内臓や血管の画像解析など、高度なデジタル技術が外科手術をサポートする時代となりました。

そうしたなかで、株式会社ロッケンは、CTやMRIの画像から細い血管を特定し3D化して可視化したり、医療画像からガンを特定したりするなど、AIや3D機能を備えた医療系ソフトウェアや医療機器の開発などを得意とするIT企業です。同社設立の経緯について坂本泰一社長は「もともと私は、大阪府立大学（現在の

大阪公立大学）の前学長だった辻洋先生の研究室で人工知能（以下、AI）を使ったビッグデータの解析などを学んでいました。ディープラーニングという言葉が始めた頃で、今日ほどAIが注目されていなかった時代です。辻先生の研究室ではフランスの大学と協定を結んで、互いの学生の留学を積極的に行っており、私もフランスに留学しました。フランスから非常に優秀な学生たちが来日し、なかには日本での就職を希望する学生もいました。言葉の壁もあり難しい状況でしたが、言葉の壁もありませんでした。

AIと3Dの両方で強みを発揮 医療系の国際規格にも精通

同社の強みはまず、医療機器メーカーで開発に携わっていた坂本社長が、医療機器ソフトウェアの開発において必須の国際規格IEC62304に精通しており、開発から事業化までの基礎技術開発、ソフトウェア設計、ソフトウェア実装、規格試験向けのテスト、技術移管のノウハウを有していることにあります。さらに、同社にはAIのエンジニアと3Dのエンジニアが半々在籍し、AI開発と3D描画技術を同時に行うことができるのも大きな特徴です。

そして今年度、同社の研究テーマ「学習データの偏在を防ぎ、データ構築からモデル化までを一貫貫で構築できるAIシステムの研究開発」が、経済産業省の成長型中小企業等研究開発支援事業に採択されました。これは、同社がAIに慣れない企業が独自のAIを開発する際に、AIの教師データとテストデータを適切に割り振ることができないというデータ偏在の問題について、自動で適切な教師データとテストデータを選ぶ技術を開発したのを、さらにAI人材がいなくても学習データ構築からモデル化までをワンストップで提供できるAIシステムの研究開発を目指すものです。これにより、AI人材の

不在という人材的課題と、高額なAI人材を雇用しなければならぬ資金的課題、さらには情報を外に出せないという環境的課題の解決に貢献できると考えています。

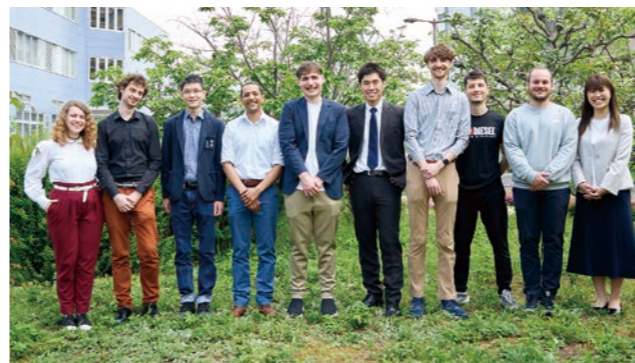
フランス支店を拠点に ヨーロッパへ事業を拡大

設立当初、フランス人学生の受け皿の役割を担ったこともあり、大学から独立した今も社員の90%が外国人の同社ですが、母国に残してきた家族などのこともあり同社のプロジェクトに長く関わることが望みながらも帰国する社員もいました。そこで今年9月に、フランス支社を開設しています。

「まずは帰国する社員のための支店ですが、今年11月にドイツで開催される「MEDICA2024」という世界最大の国際医療機器見本市にも出展する予定で、フランス支店を足がかりにヨーロッパでも事業を展開したいと考えています。また、ソフトウェアやAIの本場であるアメリカにも挑戦したいですね」。

同社では高い独自性を活かし、今後も大手医療機器メーカーや有名大学などをクライアントに受託開発に徹する考えです。一方で、AIを使ったスポーツ解析などのシステムはAIの活用事例として広く訴求していきたいと考えており、その事業は子会社でと計画する坂本社長は、その志に共感してもらえぬ出資者を募っているところだ。

「外国人ばかりの社内を見て引かれることが多く、現在、日本人社員を大募集中です」と坂本社長。



同社さかしの掲載ページ



同社さかしの掲載ページ

株式会社ロッケン

本社 / 堺市北区長曾根町130-42 さかい新事業創造センター108 ☎072-231-9815

- 設立 / 2016年設立
- 資本金 / 100万円
- 従業員数 / 10名
- 事業内容 / 国際規格対応の医療機器ソフトウェア開発、人工知能開発、コンピューターグラフィックス技術開発

経営のキモ

同社はAIと3Dソフトウェア開発を得意としており、これらの強みでAI人材不要で使えるシステムの研究開発が成長型中小企業等研究開発支援事業に採択されました。企業の人材や資金課題を解決できる最新技術です。



受託した製品の梱包作業は職員と利用者で行う。



企業から依頼されたパソコンを使う業務も職員から指導を受けた利用者がこなしている。

半年ほど事業所の運営について学んだあと、昨年7月に会社を設立。そして10月に南海高野線初芝駅の駅前に、就労継

利用者へのやりたいこと、
できることを尊重した支援を

か、君にしかできないことを成し遂げるためにその病気を持たせてくれたんやよ」という言葉に勇気をもったといいます。
「その時点ですぐに福祉事業と想ったわけではないんですが、経済的に自立したいという思いは強く、古着のネット販売などをやったこともありです。一時、人間不信に陥っていた時に仕入れのために訪れたタイで、生きていくだけで精一杯の人たちの姿を見て、日本で生まれた自分が恵まれた環境にいることを実感しました。帰国後に、「勉強させてください」と福祉事業を展開している恩師の株式会社R.I.S.E GROUP代表取締役社長山川裕也さんのもとを訪ねたのが、現在の事業所を立ち上げるきっかけとなりました」。

このような本人の意志を重視するのは、利用者さんに対してだけでなく職員に向けても同じ考えです。
「現在、サービス管理責任者の資格取得者を含めて、私が期待している職員たちは、私がこの事業所を立ち上げる時の思いをじっくり聞いて共有してくれているメンバーです。将来、独立したいなら応援しますし、それぞれに新たな事業所を

続支援B型事業所「ライズ初芝」を開設しました。
利用者さんが、障がいや体調にあわせて週2日から、無理のないペースでパソコンによるデータ入力や、袋入れ、箱の組み立てといった内職作業が行える就労支援を担っていますが、事業所が用意したメニューに限らず、自分の興味のある仕事ができるように支援している点に驚かされます。
「私たちは、その人のやりたいことを尊重したいですし、できることを見つけてあげたいと考えています。例えば、私がやっていく古着ビジネスに興味を示した人にはやり方を教えています。実際に始めている利用者さんもいます。革製品づくりをしたいという利用者さんがいれば、その指導をしてくれる事業者さんを探してきます。こちらで用意した同じ作業をしてももうほうが楽かもしれないませんが、利用者さんのやりたいこと、できることをお手伝いしたいと考えています」。
仕事内容によっては事業所に通わずに在宅ワークでもOKとしていることも同事業所の特徴です。

「6年後までに保育園、40歳までに高齢者施設を作って50歳で引退したら、養護施設のための寄付をして応援をしたいと思っています。最近、子どもの頃から誰かを喜ばせることが好きだったことに気づきました。人を幸せにすることが自分の幸せにつながっていると感じます」。

任せたいとも考えています」。
**児童発達支援事業や
放課後デイサービスも開始**
同社ではこの秋からさらに事業を拡大します。まず9月に就労継続支援B型事業所をもう1カ所増やすほか、来年3月までに就労継続支援A型事業所を3カ所開設する予定です。そして、島谷社長が今後、新たに取り組みたいと考えているのが、障がいのある子どもたちのための児童発達支援・放課後デイサービスです。
「ある方と児童発達支援の本来の目的とは何かという話をした時に、実は訓練次第で一般の学校に通える子どもたちもいるのに、放課後デイサービスから就労継続支援へとルールに乗せられて選択肢を奪われているんじゃないかということに気がかされ、一人ひとりに向けた支援の大切さを感じたんです。児童発達支援・放課後等デイサービスを2024年12月オープンします」。
現在24歳の島谷社長がこうした攻めの事業展開ができるのは、山川社長をはじめ同社に投資している経営者たちがいるからだとか。だからこそ、いつかは自分もその役割を担いたいと語っています。

経営のキモ

自身が障がいを持つ島谷社長が、障がい者支援に掛ける思いを共有し事業展開するために、管理者は就労支援事業の経験のある有資格者ですが、一般職員は取って未経験者を採用し社長の考えに沿って利用者へ接していることが同社の特徴です。

株式会社A.C RISE (エーシーライズ)

本社/堺市東区日置荘西町4-11-25
☎072-287-5231

- 設立/2023年設立
- 資本金/100万円
- 従業員数/10名
- 事業内容/就労継続支援B型、就労継続支援A型の運営



株式会社A.C RISE ホームページ



同社さかしる掲載ページ



一人ひとりの幸せを 大切に考えた 支援事業を拡げて

高校生の時に病気が原因で片目の視力を失ったという島谷竜一社長。「自分だからこそできること」を考えて、昨年7月に就労継続支援B型事業所を運営する株式会社A.C RISEを設立。この秋からさらに「攻め」の新たな展開を計画しています。

株式会社A.C RISE
代表取締役社長 島谷 竜一
タイで恵まれた自分の環境に
気付かされ福祉事業の道へ

株式会社A.C RISEの現在の事業内容は、障害や病気などで一般企業への就職が難しい人々を対象に軽作業などの就労機会や就労訓練を提供する就労継続支援B型事業所「ライズ初芝」の運営です。
島谷竜一社長が福祉事業に関心を持ったきっかけは、まず自身の障がいがありました。生まれた時から抱えていた難病が原因で、高校生の時に緑内障を発症して片目の視力を失い、将来への不安しかかった時に知人から掛けられた「君がその病気を持って生まれてきた理由は何なの



希望者には、栄養バランスの取れたお弁当を提供。そのお弁当は他の就労支援事業者に委託している。

1 産業DX支援センター事業

～DXのエキスパートによるコンサルティング支援～

デジタル技術や自動化技術を活用し、既存事業の新たな価値創造や新規ビジネスの立ち上げ、経営にかかる各業務の効率化を考えている堺市内の事業者向けに、個別相談、コンサルティング支援を行い、必要に応じてシステム導入までをサポートします。

利用料は
無料



対象者

デジタル化・自動化などにより営業力強化や業務効率化を考えている堺市内の中小企業

お申込みは
こちらから→



支援の流れ

個別相談(随時)

相談申込書をお送りください。個別相談は、日程調整の上、行います。相談はWEB面談も活用します。

コンサルティング支援

エキスパートが現状把握・診断の上、課題解決できるシステムを企業と二人三脚で検討します。

ロードマップ作成

エキスパートがシステム導入までのロードマップを作成。企業規模に応じたシステムの仕様を複数提示します。

ベンダーマッチング

ロードマップをもとに、必要に応じ主に堺市内でシステム提供ができる企業をご紹介します(紹介無料)。

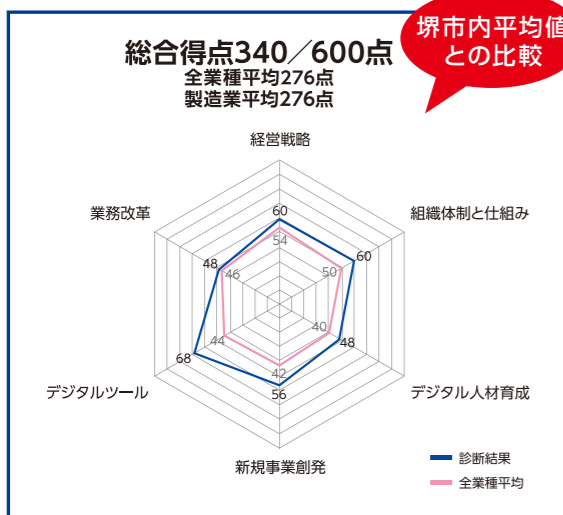
導入事例は
堺DX推進事例集を
ご確認ください!



2 デジタル経営診断ツール「堺DX診断」

「経営戦略」や「組織体制」など、デジタル化に関する6つのカテゴリ計30問の設問に回答することで手軽に自社のデジタル化の現状を自己判断できます。診断時間は約10分、何度でも無料で行えますので、デジタル化の進捗確認やDX推進の課題把握のため、ぜひ堺DX診断をご活用ください!

利用料は
無料



経営戦略
合計点 60/100点
(全業種平均:54点 製造業平均:54点)

経営戦略や計画の達成度を定量的に評価することは重要です。指標や目標値を設定し、進捗管理を行う仕組みづくりを行います。

目指す姿の明確化 ★★★

設問 自社が置かれている経営環境下で、将来の目指す姿(ビジョン)を描いていますか?

回答 経営環境を分析したうえで、中期的な(3年～5年先の)目指す姿(ビジョン)を描いている。

コメント 事業環境の変化やトレンドを先読みして、長期的(5年～10年)な目標で目指す姿(ビジョン)を描いてみましょう。定性面(顧客にどのような価値を提供したいか)や定量面(売上高・利益など)の両方から考えることも重要です。

経営戦略の策定 ★★★

設問 目指す姿の実現のために経営戦略を定めていますか?

※経営戦略とは、将来の目指す姿を達成するための方策のこと。

回答 自社の強み・弱み、外部環境(市場動向や顧客ニーズなど)を把握したうえで、戦略を策定している。

コメント 経営環境や顧客ニーズは日々変化していますので、定期的に経営戦略の改善・見直しを行いましょう。

次のアクション検討に向けたコメント

「さかしる」de Challenge!



「さかしる」って、なに?

国が公開している企業のオープンデータ※をもとに、堺市内に本社などを構える約24,000社の法人企業情報を掲載し、市内企業が**自ら情報を入力・公開することが可能**となるオープンデータポータルサイトです。

※国や地方公共団体・事業者が公開したデータで、「誰もが利用(加工・編集・再配布など)できること」「営利・非営利に関わらず二次利用が可能であること」「機械判読できること」「無料で利用できること」といった条件が定められたものです。



さかしるの
詳しい情報と
登録方法は
こちら

「さかしる」登録方法

- 1 G Biz IDを取得します。**
右下のQRコードから国に申請し、G Biz IDを取得してください。G Biz IDを持っていると、さまざまな行政サービスへのログインが簡単になります。
G Biz IDの手続きはこちらから→
- 2 「さかしる」のマイページにログインします。**
G Biz IDとパスワードを入力して、「ログイン」をクリック。マイページを開きます。
- 3 画像や情報を入力し、「登録確認」を押して完了です。**
マイページの入力画面で、画像やアピールしたい情報を入力したら、必ず最後に「登録確認」を押して完了させてください。

「さかしる」の企業情報登録は企業ご担当者の名刺を堺市産業振興センターへ送付いただくことでも登録ができます。

例えば **G Biz IDを取得していないが、「さかしる」に登録したい企業。**
G Biz IDを取得しているが、「さかしる」の登録方法が分からない企業。
当センターに問い合わせすることで、登録からマイページ開設までサポート!

企業情報登録の流れ

- ① keiei_shien@sakai-ipc.jp宛に、ご担当者の名刺をメールに添付して送付(名刺はPDFやJPGなどの画像形式でもOK)
- ② 当センターにて内容確認後、マイページへログインするためのURLを添付して返信
- ③ 返信メールに添付されたURLをクリックし、マイページから情報を入力します

企業情報入力の流れ



◀「本サイトに掲載したい方」をクリック。

▶「さかしるへの掲載について」にジャンプ。
※入力方法など、詳しい掲載操作の流れは同サイト内の「掲載方法PDF」をダウンロードしてください。



◀「さかしる」はこちらから



堺市の大阪・関西万博参画予定企業をご紹介します

堺市産業振興センターでは、堺市内から大阪・関西万博に参画する予定の企業の取材を実施しました。取材の内容は以下のURLまたはQRコードからご覧ください。
https://www.sakai-ipc.jp/bizsupport/industrialsupport/expo2025_sakai_company.html



※掲載情報は令和6年6月1日現在、(公財)堺市産業振興センターで把握しているものです。

2025年大阪・関西万博

堺市の万博参画予定企業

参画方法

リ リポーンチャレンジ



サ サプライヤー



パ 外食パビリオン



株式会社アキボウ

堺市北区
卸売業



タマノイ酢株式会社

堺市堺区
製造業



八田工業株式会社

堺市中区
製造業



NT技研工業株式会社

堺市北区
製造業



株式会社デリコジャパン

堺市堺区
卸売業



菱田技研工業株式会社

堺市西区
製造業



株式会社古賀機械製作所

堺市美原区
製造業



東洋水産機械株式会社

堺市中区
製造業



モアコスメティックス株式会社

堺市美原区
製造業



境川工業株式会社

堺市美原区
製造業



株式会社中村超硬

堺市西区
製造業



株式会社陸水

堺市堺区
漁業



株式会社新川製作所

堺市中区
製造業



日新シール工業株式会社

堺市美原区
製造業



リグナイト株式会社

堺市西区
製造業



株式会社総合水研究所

堺市堺区
サービス業



ハイテン工業株式会社

堺市美原区
製造業



株式会社をくだ屋技研

堺市美原区
製造業



株式会社タマックス

堺市中区
製造業



株式会社羽車

堺市東区
製造業

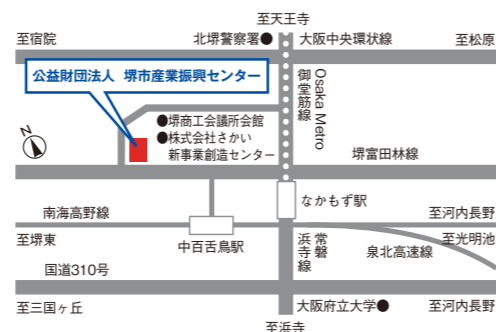


中小企業を
全力応援

公益財団法人
堺市産業振興センター

堺市産業振興センターでは、経営相談や技術開発支援、各種セミナーなど研修に関する事業、堺市内中小企業に対する融資関連事業、地場産業の紹介・製品展示・販路開拓に関する事業、情報誌やホームページ・メールマガジンなどによる産業情報発信、福利厚生事業、イベントホールや会議室などの貸出事業と多種多様なサービスでビジネスをサポートしています。

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5
TEL : 072-255-3311(代) FAX : 072-255-5200
<https://www.sakai-ipc.jp/>



●南海高野線中百舌鳥駅より約300m ●Osaka Metro御堂筋線なかもず駅より約300m ※駐車場は、隣接の来客用駐車場(無料)がございますが、できるだけ電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

福利厚生の充実を考えるなら今がチャンス!

～入会キャンペーンのご案内～

SCKサービスセンターは、堺市内の事業所で働く皆さまに、事業所単独では経費や手間がかかりがちな福利厚生サービスを非営利で提供。スケールメリットを活かした多彩な事業を展開しています。

- ◆慶弔給付/各種祝金・見舞金・弔慰金・在会慰労金など
- ◆健康管理/定期健康診断・人間ドック・予防接種補助など
- ◆余暇活動/レジャー施設・温泉・グルメ等の割引、宿泊・ゴルフ補助、各種イベントの開催、チケットあっせんなど
ベネフィット・ステーションの各種サービス、ローチケbiz+など
- ◆その他/無料法律相談、中退共の加入あっせん、財形貯蓄事務代行など

加入対象: 堺市内に事業所・店舗・工場等がある従業員数300人以下または資本金3億円以下の事業所に働く勤労者と事業主

会費等: 入会金500円 月会費700円



入会
キャン
ペーン

実施期間: 2024年12月10日まで

- 特典:
- ①通常500円の入会金が全員分無料
 - ②入会人数×500円分のジェフグルメカード進呈
 - ③キャンペーン期間中の入会合計人数により商品券進呈

お問い合わせフォーム



SCKキャラクター
「エッシーくん」



お問合せ先 公益財団法人堺市産業振興センター 勤労者福祉サービス課 (SCKサービスセンター)
TEL : 072-255-1515 FAX : 072-255-5151 Email : kousei@sck.or.jp URL : <https://www.sck.or.jp>

貸会場のご案内「イベントホール・セミナー室・会議室」

イベントホールをはじめ、コンベンションホール、大小会議室、セミナー室、小ホールなど、幅広く対応可能な14会場をご用意しています。会議、研修会、講演会、展示会、パーティなど様々な用途でご利用いただけます。空き状況はインターネット上(堺市施設予約システム)でご確認いただくか、電話でお問い合わせください。

【利用時間】 9:00~21:00

【駐車場】 約230台(無料)

【休館日】 年末年始(12月29日~翌年1月3日)

【最寄り駅】 中百舌鳥(なかもず)駅から徒歩約300m



イベントホール(展示会形式)



セミナー室3(スクール形式)



会議室1-1(会議形式)

お問合せ先 堺市産業振興センター貸会場
TEL : 072-255-0111 ホームページ : <https://www.sakai-ipc.jp/>



この企業にこの人あり!

デジタルヒーロー合同会社

代表者名/代表 工藤 匠一郎
 本社/堺市北区長曾根町130-42
 さかい新事業創造センター327
 TEL/072-275-5155

- 設立/2021年設立
- 資本金/10万円
- 従業員数/2名
- 事業内容/経営デジタル支援事業

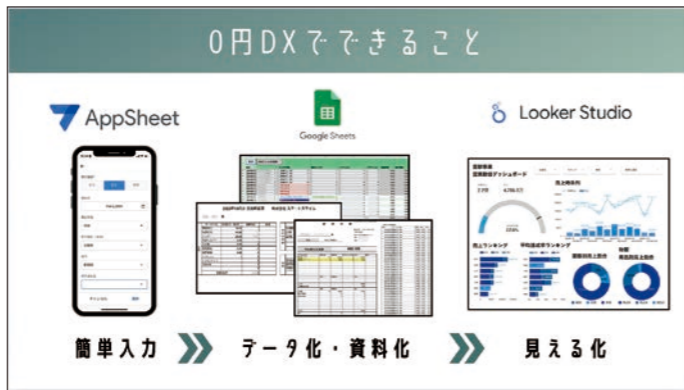


デジタルヒーロー(同)ホームページ



同社さかしる掲載ページ

商工会議所や税務署などでセミナーを開催して、「0円DX」の手法を惜しみなく発信している。



業務の効率化を支援する会社はもちろん、毎日が「ノー残業デー」。



デジタルヒーロー(同)の人材戦略

今は価値観を共有できる人材を「一本釣り」で

お客様から大切な情報を預かり、一度システムを作っただけでなく長く支援を行う責任ある事業展開を考えたら、そもそも個人事業はあり得ませんでした。そして今は、妙な資本主義に毒されていない当社の価値観を共有できる3人目の仲間を迎え入れたいと考えており、奥野同様、「一本釣り」する予定です。

現在は、主に工藤代表が営業を担い、奥野

「真つ当に健康に世の中に貢献する」基本的な価値観を変えることなく

「真つ当に健康に世の中に貢献する」基本的な価値観を変えることなく、現在は、主に工藤代表が営業を担い、奥野は鮮明に覚えています。その日に覚悟を決めました。実際、最初に断ってから少し後悔していました。公務員を続けていれば安定しているけれど、10年後の姿も想像つく人生を選んだのだから(笑)。

一方、工藤代表は断られた後に共通の知り合いから、本当に奥野さんをあきらめていいのかと言われた言葉に背中を押されて再度、声を掛けたのだと言います。今は結婚した奥様からも「毎日、まるで遊びに行くかのように楽しそう」と言われていると奥野さん。「サザエさん症候群」も全くなくなりましたね。

「最初は断りました。それで一度は工藤ともやっばりやめようという話になったんですが、1ヶ月後にはまた連絡が来てカフェで話をした時の風景は鮮明に覚えています。その日に覚悟を決めました。実際、最初に断ってから少し後悔していました。公務員を続けていれば安定しているけれど、10年後の姿も想像つく人生を選んだのだから(笑)。」

「安定した公務員の身分を捨てて“0円DX”の支援事業を共同設立」

理想とする生き方をあきらめさせない業務の効率化を「0円DX」で実現

「0円DX」で中小企業の業務効率化を支援するデジタルヒーロー合同会社。「みんなをあきらめさせないヒーロー」でありつつ「使命に掲げています。」

何をあきらめさせないのかといえば、非効率な業務のために、本当に大切な仕事や家族、趣味といった自分が理想とする生活のことだと工藤匠一郎代表。

「僕たちが強みとしているのは、プロジェクトの案件管理や営業数値管理などを一つのダッシュボードで見える化し共有することで業務の効率化を図り経営に活用いただくことです。それがある程度まで無料のアプリケーションで実現できます。当社ではその手法を広めるための講演活動や実際の企業支援を行っています。」

もともと工藤代表が大学院を卒業後に勤めたベンチャー企業2社で、営業チームの数値の見える化や組織の効率的な運用のために無料ツールを活用したのが評価され、自分が当たり前に使っているツールが意外と活用されていないことを知ったのが、現在のビジネスにつながっているといいます。当初は個人事業でのスタートでしたが、2021年9月に法人化する時に共同創業者として誘ったのが、高校時代の同級生の奥野真弥さんでした。

月曜出社の憂鬱もなくなった元同級生との新規事業の立ち上げ

その時、奥野さんは公務員生活7年目。結婚を約束した女性もいました。

さんが労務関係を担っていると。顧客からの課題は2人でアイデアを出し合い、一緒に提案するシステムを組み立てています。

「お客様から2人揃ってデジタルヒーローだねと言われたこともあり。工藤は真剣になるとお客様の前でも恐い顔になることがあるので、その横で僕は優しい顔をして座っているようにしています(笑)。一度、僕が活用しているツールを選ばれたお客様から、その理由を僕の人柄が良いからと言われた時は嬉しかったですね。工藤と仕事をしているのが楽しい時にも思いますが、結局誰と仕事をしているかが大事なんだと実感します。」

工藤は、お客様の話から本質的な課題の解決に向けて真剣に取り組みます。そのために、時にはその課題解決のために必要なのは僕たちじゃないと他を紹介することもあるべしです。当社が基本的な価値観として掲げる『真つ当に健康に理想を諦めず世の中に貢献する』は、これからは僕たちのDNAとして大切にすべきことだと思っ



デジタルヒーロー合同会社 代表 工藤 匠一郎さん

アレルギー体質にも配慮した グレイン&グルテンフリーの ペットフード



堺のこだわりのモノづくり
SAKAI
もの
新発見

ペット用品メーカーとして50余年の歴史を持つ株式会社ボンビアルコン。犬・猫用の室内サークルやキャットツリー、カートなど、数多くのオリジナル企画の製品を世に送り出してきました。そして2015年から販売を開始したのがペットフードです。「ペットの“食”でも商品を展開したいと思っていたところ、ペットの健康を考えたヘルシーで栄養価の高いフードを100%自社工場で生産しているというカナダのメーカーと出会い、日本の販売代理店になることにしました」と山本洋介社長。

発売当時はペットフードとしては珍しかった穀物とグルテンが含まれない「グレイン&グルテンフリー」であることや、「シングルプロテイン」といって動物性タンパク質源の原材料が魚や、チキン、オーストラリアンラム、アヒル肉のどれか一種類であることが大きな特徴です。EC事業部の山本寛太郎部長は「シングルプロテインは、万一、ペットがアレルギーを発症した時にアレルゲンを特定しやすいというメリットがあります。フードについては後発なので、こうした特徴あるフードに巡り会えたことは幸運でした」と語っています。



株式会社 ボンビアルコン

代表者名/代表取締役社長 山本 洋介
本社/堺市美原区木材通4-14-36
TEL/072-369-3111

- 設立/1954年創業 1970年設立
- 資本金/2,000万円
- 従業員数/18名
- 事業内容/自社ブランドのペット用品の企画・製造および販売、海外ブランドペット用品の輸入販売、その他ペットに関する業務



2024年9月末~12月末頃まで
堺市産業振興センター1F「さかいモノてらす」で展示予定



(株)ボンビアルコン
ホームページ



同社さかする
掲載ページ

中小企業を
全力応援



公益財団法人

堺市産業振興センター

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5
TEL:072-255-3311(代) FAX:072-255-5200

